

令和6年度 全国学力学習状況調査 中学校版 【美作市 結果・概要】

美作市教育委員会 学校教育課

○平均正答率（中3） 割合（％）

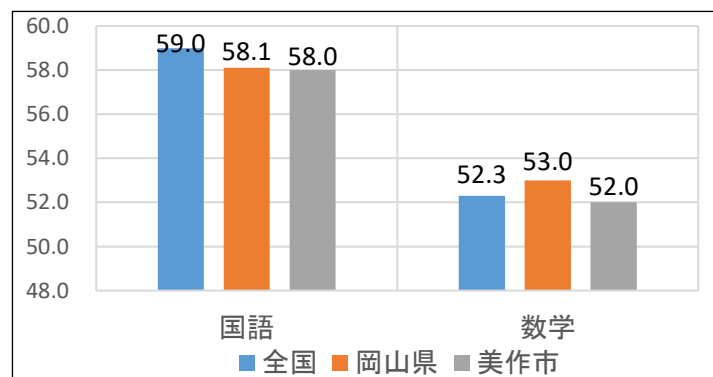
	国語	数学
全国	59.0	52.3
岡山県	58.1	53.0
美作市	58.0	52.0

〔国語〕

- ・【知識・技能】の平均正答率は、全国平均を1.1p上回り、【思考力・判断力・表現力等】は全国平均を1.3p下回った。

〔数学〕

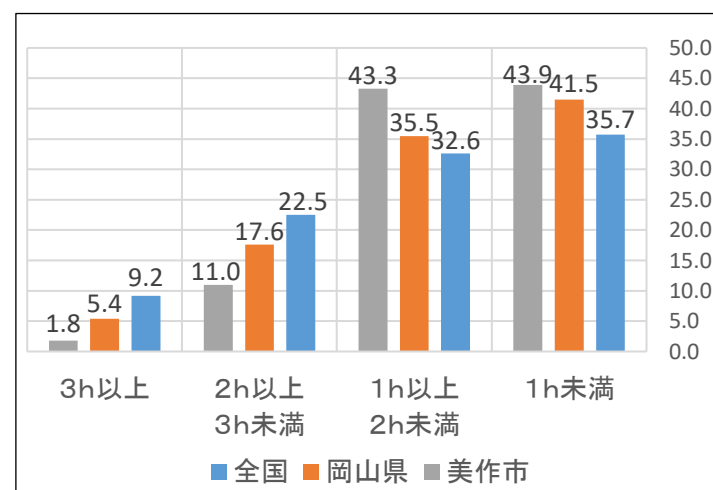
- ・【知識・技能】の平均正答率は、全国平均を0.3p下回り、【思考力・判断力・表現力等】は全国平均を0.3p上回った。



○平日の家庭学習時間（中3） 割合（％）

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	35.7	32.6	22.5	9.2
岡山県	41.5	35.5	17.6	5.4
美作市	43.9	43.3	11.0	1.8

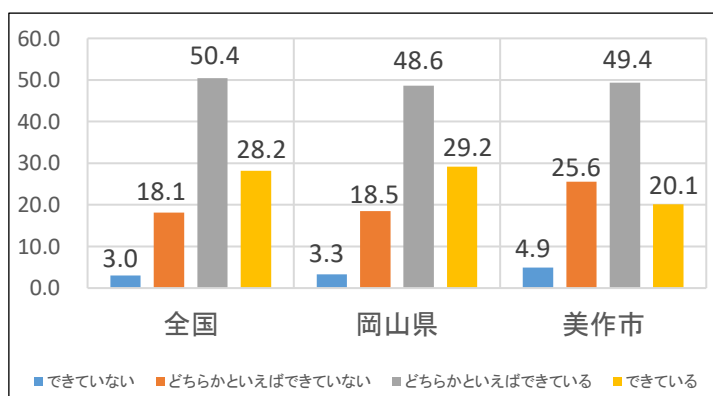
- ・1時間未満の割合が全国平均を大きく上回っている。昨年度（中学2年生時実施の県調査結果）と比較すると、1時間未満の割合が7.9ポイント増加した。
- ・家庭学習時間が1時間未満の生徒の平均正答率は、1時間以上の生徒の平均正答率よりも10p以上下回っている。
- ・一人一台端末を持ち帰り、デジタル教材を活用しながら、授業と家庭学習の連動による自律的な学びの促進を図る。



○学び方を自分で考え工夫する（中3） 割合（％）

	できていない	どちらか といえば できてい ない	どちら かとい えばで きてい	できて いる
全国	3.0	18.1	50.4	28.2
岡山県	3.3	18.5	48.6	29.2
美作市	4.9	25.6	49.4	20.1

- ・肯定的な回答は全国、県平均を大きく下回っている。
- ・生徒が「学び方」を身に付けられるような授業改善により、自律的な学びの促進を図る。



【全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題及び改善のポイント】

〔国語〕

- ◎「本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する」問題において、全国平均を上回った。
→「読むこと」領域における書く活動の課題への対策の効果である。（+5.3p）
- 「話すこと・聞くこと」領域において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて自分の考えをまとめること、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することに課題が見られた。
→単元全体を通して、「日常の話し合い活動を想定した言語活動」の設定を行う。

〔数学〕

- ◎「データの活用」領域における「箱ひげ図」を扱う問題の正答率が、全国平均を上回った。（+5.0）
→経年的に課題のある領域への対策の成果である。
- 「図形」「数と式」領域における「筋道を立てて証明する」「事柄が成り立つ理由を説明する」問題に課題が見られた。
→数学的な「見方・考え方」による「評価規準（基準）」を明確にし、協働的な学びにおける「吟味の視点」を重視した授業改善を図る。

〔学ば力〕

- 授業や家庭学習において、生徒が自ら「学び方」を選択・決定したり、自己調整したりする場面を設定する。また、教科の見方・考え方を重視した授業改善を図るとともに、その「見方・考え方」を活用できる「探究的な学習」を積極的に取り入れる。

〔その他〕

- 「自分にはよいところがある」の質問項目でも、肯定的な回答はほぼ全国平均並みである。
→教育活動全般において「自己選択」「自己決定」できる場面を設定し、過程を認める言葉かけや価値づけの工夫を行う。
- 「将来の夢や目標をもっている」の質問項目では、肯定的な回答が全国平均を2.6p下回っている。
→総合的な学習の時間等におけるキャリア教育の充実を図る。